

<令和6年度 運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	(有) 在宅ナースの会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護ふくふく釜利谷
所在地	(〒236-0045) 横浜市金沢区釜利谷南2-4-22白山ハイッ1階		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

・胃ろうや吸引など、医療ニーズの高い方でも安心して在宅生活を開始・継続できるよう支援していきます。 ・病院や施設から在宅生活への移行がスムーズにできるよう、必要時 介護指導も実施しています。ご家族の介護負担と不安の軽減に努めていきます。 ・主治医・多職種との連携をとり、終末期の方でも安心して在宅生活が送れるよう、24時間体制で支援していきます。 ・「看護小規模多機能型居宅介護」のサービスについての啓蒙活動を継続し 地域の方に選んで頂ける施設を目指します。 ・音楽や制作などのレクレーションを充実させ、楽しく生活リハビリができるよう支援いたします。 ・利用者様やご家族にもご協力頂き、感染症対策を徹底し、施設内での感染症の蔓延防止に努めていきます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 11 月 23 日	従業者等自己評価 実施人数	(20) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 2 月 19 日	出席人数（合計）	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	☒ 自事業所職員 (3 人) ☐ 市町村職員 (____ 人) ☒ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☒ 地域住民の代表者 (1 人) ☒ 利用者 (1 人) ☒ 利用者の家族 (1 人) ☒ 知見を有する者 (1 人) ☐ その他 (____ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目1～10)	① 看護小規模多機能のサービス・理念について、職員の理解を深めサービスを提供できるよう新人研修・社内研修を実施し、より多くの職員の参加を促していく。また社外研修への参加も促していく。 ② ヒヤリハットや事故報告書をもとに検討会を開催し、対応策の周知・徹底を図ることで、事故件数を減らしより良いサービスに繋げていく。 ③ 事業所内でBCPの内容を周知していくとともに、社内研修や防災訓練、運営推進会議での地域の方からの意見を参考に災害や緊急時にも対応できるようにし、継続的なサービスが提供できるようにしていく。	① 新人研修により看護小規模多機能型居宅介護のサービスについての理解に努めた。研修委員を中心に社内研修を実施した。また社外研修への声掛け・促しも実施した。 ② 事故発生時には必ず事故報告書を提出し、再発防止策の検討を実施。職員間で周知した。 ③ 昨年度内にBCPを作成した。防災訓練を2回/年実施し地域の方にも参加して頂いた。	① 新人研修・社内研修を2か月に1回のペースで実施し、看護小規模多機能のサービスや認知症ケア、虐待・不適切ケアなどについての学習で学びを深めた。研修委員が中心となり、社外講師もお願いし講義して頂いた事で、すぐに現場で役に立つ知識を得られたと思う。 ② 事故発生時には報告書を作成し、必ずミーティングでの職員への周知と事故の検討を行った。今後も継続していく。 ③ 昨年度内にBCPを作成した。事業所玄関に掲示し、誰でも閲覧できるようにしているが、職員の内容の周知には至らなかった。適宜 内容の見直しと、職員への周知を行っていく。防災訓練は地域の方にも参加して頂き2回/年実施し意見を頂けた。

II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目11～27)	① 利用者の状態に合った生活支援ができるよう情報共有を行い、統一した関わりが継続できるようにする。 ② 医療ニーズの高い利用者でも安心して在宅生活が送れるよう、看護小規模多機能の特性を活かし、利用者・家族の意向に沿った具体的なケアプランの作成をし、介護負担の軽減に努める。 ③ 事業所内外の多職種と連携し、利用者の状態に合わせたサービスを検討・導入する。 看護小規模のサービスについて、利用者と家族に丁寧に説明し、必要であれば補足し希望や意向をその都度確認しサービスに反映していく。	① 新規利用の方や状態変化のあった方についての情報共有を行った。また利用開始してからも情報を共有できるよう努めた。 ② ご家族の訴えを傾聴しながら、意向に沿ったケアプランの作成に努めた。また介護者の急な体調不良などにも緊急の宿泊などで対応し、利用者様の安全と介護負担の軽減に努めた。 ③ 担当学会議を実施し、利用者様の状態に合わせた福祉用具の選定などを行い、迅速に対応した。 ④ 施設見学やサービス利用開始時に、通常の居宅介護サービスと看護小規模型居宅介護との違いを説明し、理解に努めた。また必要時、適宜お伝えし、通所・宿泊・訪問サービスを組み合わせ、ご家族の希望に柔軟に対応し介護負担の軽減に努めた。	①利用者様の状態変化を朝のミーティングで共有しケアに活かすことができた。利用を開始する利用者様に関しても、ミーティングノートを利用し参加していない職員も周知していけるよう努めた。 ②ご家族の体調不良や状況に合わせて、通所・宿泊・訪問を柔軟に対応しケアに努めた。医療ニーズの高い方に対しても、利用者様の状態の維持や介護負担の軽減ができるようケアプランを作成し関わった。 ③状態の変化した利用者様に対し、ケアマネを中心に迅速に対応し福祉用具の導入や介護指導など介護士・看護師が協力し対応できた。 ④利用者様やご家族に対し、利用開始時だけでなく、適宜 看護小規模多機能サービスについて説明し、意向に沿ったサービスを組み合わせてケアする事ができた。
-----------------------	--	---	---	--

2. 多機関・多職種との連携 (評価項目28～31)	① 退院前カンファレンスなどから情報共有を行い、準備することで、スムーズに在宅生活がスタートできるよう積極的に参加していく。 ② 医師・看護師と連携し、すべての利用者の24時間の緊急対応ができる体制を構築し、看取りの対応を含め、利用者・家族が安心した在宅生活を送れるように支援していく。 ③ 利用者の疾患や生活を把握し、看護師・介護士だけでなく、多職種と連携しながら、利用者の起こりうる状態を予測し、安心した在宅生活を送れるよう情報を共有していく。	①利用開始前にカンファレンスに参加し、情報収集に努めた。また、ミーティングでの職員間での情報共有に努めた。 ②ケアマネ・看護師が24時間で電話対応できるよう、体制を整えている。医師・看護師・介護士と連携しスムーズな緊急対応に努めた。 ③看護師・介護士との情報共有を密に行い、利用者様の病状や状態の把握に努めた。ご自宅での様子や状態を伺い、通所利用時にも、利用者様の状態に合わせて安静や休息を取り入れ対応した。また通所時の様子をご家族にもお伝えし、安心した在宅生活を送れるよう努めた。	①特別な事情がない限り、退院される利用者様に関しては、退院前カンファレンスを依頼し情報収集と情報共有に努めた。 ②24時間対応できる体制を維持し利用者様やご家族に安心して在宅生活を送れるよう努めた。すべての利用者様がスムーズな緊急対応をできる体制が整っているわけではないため、今後整備していく必要があると考える。 ③医療ニーズの高い方や利用者様の状態の変化について、ケアマネ・介護士・看護師で共有し主治医とも協力しながら対応できた。ご家族の意向を確認しながら看取りの対応を含め、在宅で安心して生活して頂けるよう対応を継続していく。
---------------------------------------	---	--	--

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目32～41）	① 運営推進会議で、地域の方々に看護小規模多機能サービスについて理解を深めていただけるよう、会議を充実したものにしていくとともに、掲示板を利用し施設についての啓発活動を継続していく。 ② 運営推進会議や地域の活動に参加することで、意見を頂きサービスに反映できるようにする。	① 2か月に1回、運営推進会議を開催し、地域の方々に活動内容についての報告をすることができている。また、会議に利用者様とご家族に参加して頂くことで、より具体的なサービス内容を理解して頂けるよう努めた。 ② 運営推進会議で頂いた、地域活動の情報をもとに、お祭りなどの地域行事に参加させて頂きました。利用者様にも活気があふれ、楽しんで頂けた。また、掲示板を利用し施設内の様子を地域の方に発信する事で、在宅介護されている方の見学につなげる事ができた。	① 1回/2か月 運営推進会議を開催し、地域の方への活動報告を実施する事ができ、意見を頂く事ができた。また、地域の方からも運営推進会議で情報共有ができているとの評価を頂いた。今後も地域活動に参加させて頂き、ふくふくを知って頂けるよう活動していく。 ② 掲示板を利用し、施設内の様子や活動について発信していった事で、施設見学に繋げる事ができ、地域の方に少しずつ啓蒙できていると感じている。地域の方からも掲示板はとても良い情報発信のツールであるとの評価を頂けているため、今後も継続していきたい。
Ⅲ. 結果評価 （評価項目42～44）	看護小規模多機能サービスを利用することで、医療ニーズの高い方の在宅療養や、在宅での看取りを考えている方でも安心して生活していただけるよう、個別的な計画作成をし、看護・介護介入ができるようにしていく。	医療ニーズの高い方の在宅療養や、状態が変化し介護負担の増大している或いは、介護負担が増大する可能性のある方に対し、看護小規模多機能サービスの特性を活かして迅速に対応し個別的な関りができた。	ケアマネ・介護士・看護師が密な連携をとり、看護小規模多機能サービスの特性を活かした関りができた。在宅で看取りを考えている方も安心して在宅生活を送って頂けるようサービスを充実させていきたい。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
----	------	------

I. 事業運営の評価 (評価項目1～10)	① 新人研修・社内研修で、多くの学びが得られ、サービスの提供に役立てられている。外部講師を依頼するなど、研修の幅を広げ、地域の方からも研修に工夫が見られサービスの向上につながっているとの意見を頂けた。今後も職員の参加を促し継続していきたい。 ② 事故報告やヒヤリハット報告の内容をミーティングで職員全員が共有し検討をした事で、再発防止に繋げる事ができた。今後も継続していきたい。 ③ BCPを作成し掲示しているが、職員の内容の周知には至らなかった。今後、内容の見直しと職員の周知を実施していき有事の際もサービスの提供が継続できるようにしていきたい。年2回の防災訓練では、地域の方にも参加して頂き、対策を共有できているとの意見を頂けた。今後も利用者様・地域の方にご協力頂き、防災訓練を実施していきたい。	①新人研修や社内研修で、看護小規模多機能サービスについて理解を深め、認知症や医療ニーズの高い利用者へのケアを更に充実させていく。必須研修は伝達講習も実施しているが、研修への参加を促していきたい。 ②事故発生時の周知と再発防止策の検討はこれまで通りに継続していきたい。また、ヒヤリハットの報告を充実させる事で事故件数の減少に繋げていきたい。 ③事業所内でBCPの内容を周知していくと共に、災害や緊急時の対応を強化していきたい。また内容の修正を図っていく。2回/年の防災訓練で地域の方からの意見を頂き、災害に備えていく。
----------------------------------	---	---

II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目11～27)	① 朝のミーティングで利用者様の状態を共有し、ケアに活かすことができた。 ② 利用者様だけでなく、ご家族の状況も職員で共有する事で介護負担の軽減に繋げる事ができた。ご家族の急な体調不良などにも、看護小規模多機能という特性を活かしたケアができた。 ③ 利用者様の状態に合わせて、福祉用具の選定や介護指導を実施し、不安や介護負担の軽減に繋げる事ができた。 ④ 看護小規模多機能のサービスについてその都度説明する事で、利用者様やご家族の意向を伺い、サービスに反映する事ができた。	①利用者様の状態に合わせ、看護小規模多機能サービスの特性を活かしたプランの立案や修正を迅速に行い、ケアを実践していき、ご家族の介護負担の軽減に努めていく。 ②医療ニーズの高い利用者様やご家族の状況については、ミーティングやノートを活用し職員間での周知に努め、ケアや処置の方法など検討していく。 ③看取りの対応も視野に入れ、ケアマネ・介護士・看護師が協力し、利用者様やご家族の意向に沿い安心した在宅生活が継続できるよう支援していく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目28～31)	① 退院前カンファレンスに参加する事で、事前に職員間でも情報を共有でき、スムーズな在宅生活への移行を支援する事ができた。 ② ケアマネ・看護師が24時間対応できる体制が整っており、安心して在宅生活を送って頂けるよう対応する事ができた。緊急対応に関しては、今後も主治医や医療機関と連携しスムーズに行えるようにしていきたい。 ③ 医療ニーズの高い方や利用者様の状態の変化について、職員間で共有し、主治医とも協力し対応する事ができた。利用者様やご本人の意向を確認しながら看取りの対応を含め、在宅で安心して生活して頂けるよう対応を継続していく。	①退院前カンファレンスへの参加を継続し、利用者様やご家族が不安なく在宅生活に移行できるように支援していく。 ②事業所内の介護士・看護師だけでなく、主治医・リハビリやマッサージのスタッフとの連携を図り、生活リハビリや残存機能を維持しながら在宅生活を継続する事ができるよう支援していく。 ③医師・看護師・介護士・ケアマネと連携し、引き続き、すべての利用者様が安心して在宅生活が送れるよう、24時間体制で緊急対応できる体制を構築していく。

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目32～41）	① 2か月に1階の運営推進会議で、地域の方との情報共有を行い、地域の方からも意見や助言を伺うことができた。今後も地域の活動に参加させて頂き、ふくふくについても知って頂けるよう活動していきたい。 ② 掲示板の活用により、地域の方に施設見学に来ていただく事ができた。地域の方に少しずつ啓蒙できていると感じており、今後も継続していきたい。	①運営推進会議での地域の方への活動報告と、地域活動への参加の充実を図り、利用者様に楽しんで頂くと同時に、更に地域の方々に看護小規模多機能サービスの理解を深めて頂けるよう活動していく。 ②掲示板の運用を更に充実させ、地域の方々への啓蒙活動を継続していくと共に、地域の方の見学や利用に繋がるよう尽力していく。
III. 結果評価 （評価項目42～44）	ケアマネ・介護士・看護師が密な連携をとり、看護小規模多機能サービスの特性を活かした関りができた。在宅で看取りを考えている方も安心して在宅生活を送って頂けるようサービスを充実させていきたい。	地域の方に、看護小規模多機能サービスを更に知って頂くために啓蒙活動を継続し、特性を活かした関りで、医療ニーズの高い方や在宅での見取りを考えている方への在宅支援に尽力していく。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	16	4			介護に対する意識の高さ、質の良いサービスが提供できている。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 看多機として、特に①の支援が大いに実践されている。 法人としての理念を掲げ実践している。 ①②医療ニーズの高い利用者、終末期利用者を積極的に受け入れており、病院・往診医にもアピールできているため、紹介が多い。 ③ 家族の介護力に合わせて臨機応変に・柔軟に対応している。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、	15	5			新入職者への研修は、サービスの概要を理解し、より	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	職員がその内容を理解し、実践している	[具体的な状況・取組内容] 個々の利用者に寄り添ったサービスを提供している。 社内研修等、事ある毎に理念の確認をすると共に、毎朝のミーティングで月間目標等 スタッフ全員で呼称している。				良いサービスを提供する事に繋がると思います。	価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	3	12	4	1	福祉の現場ではなかなか難しいと思いますが、引き続き取り組みを進めて頂ければと考えます。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 新人研修や社内研修は年間計画が立てられている。 研修やミーティングで話合われている。 年1回の管理者との面談の中で自身で受講したいと思っている研修などを確認し計画している。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づ	15	4	1		社内の研修に工夫がみられる。サービスの向上につな	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	いて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 実務者研修や喀痰吸引研修が行われている。 年6回の社内研修を実施し必要に応じて事業所内研修を行っている。				がっている。	いて、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	17	3			利用者さんの状態を共有する努力が伺えます。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
（3） 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おお そ ど き て い る	あ ま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	14	5	1		利用者様・ご家族も参加され、声を聞け、サービスへの満足感が伝わってくる。地域の方々、参加者と共に共有できている。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	10	9	1		職員の方々が働きやすい環境であることは、利用者さんも安心だと思います。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うと	14	6				✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ でできている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	もに、必要に応じて職員 間で迅速に共有できるよ う工夫されている	<u>「具体的な状況・取組内容」</u> 朝のミーティングの開催と、ミーティ ングノートの活用で、迅速な情報共有を図 っている。 介護記録・ケアマネファイルは職員の誰 もが閲覧できる環境になっており、利用 者の心身の状態等、急激な変化があった 場合にはミーティング等で伝達してい					夫」の2つの視点から、充足度 を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用 者等および職員の安全確 保のため、事業所におい てその具体的な対策が講 じられている	15	5			忙しい中、しっかりと事故 の検討がされていると思 います。	✓ 「各種の事故に対する予防・対 策」の充足度を評価します 対策が求められる事項として は、例えば「医療・ケア事故の 予防・対策」、「交通安全」、 「夜間訪問時の防犯対策」、 「個人情報保護」などが考えら れます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時におい ても、サービス提供が継	15	5			地域の方、町内会長、民生 委員の方々も参加される避	✓ 「緊急時におけるサービス提供 のための備え」について、充足

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	[具体的な状況・取組内容] BCPを作成し玄関に設置している。 2回/年の防災訓練を行い、備品の整備・管理もされている。				難訓練が実施され、対策を共有できている。	度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	11	9			職員の方は大変だと思いますが、24時間の体制は利用者さんは、とても安心だと思います。	✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したア	14	6				✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	セスメントの結果が、両 職種の間で共有されてい る	[具体的な状況・取組内容] ミーティングや日々の業務内でのコミュ ニケーションで情報の共有や意見交換が 行われている。 ケアマネが実施したアセスメントは職員 が閲覧できる場所に設置しておりいつで も確認ができる。					充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われた アセスメントの結果は、その後 のつき合わせなどを通じて、両 職種で共有されることが望まし いといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考 えを把握するとともに、 その目標の達成に向けた 計画が作成されている	13	7			いつもよくして頂いていま す。安心しています。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の 作成」について、充足度を評価 し利用者のみでなく、家族等の 考えを適切に把握するととも に、その考えを含めた計画を作 成することは重要であるといえ ます
14	○ 利用者の有する能力を最大 限に活かした、「心身	11	8	1		生活の中で、無理せず対応 してくださっています。	✓ 「利用者の有する能力を活かし た、心身機能の維持回復を重視

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	[具体的な状況・取組内容] 残存機能の維持・向上やADLの向上を目指したケアができるよう、計画作成されている。					した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	12	8			何かあれば、連絡帳や電話などで、すぐに知らせてくれています。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] 利用者と家族の状況を把握し、変化を予測しながら対応している。 利用者・家族の状況の変化を共有し、プラン立案がされている。 アセスメントした内容を課題分析表で整理し予測とリスク管理を踏まえた計画を作成し定期的に更新している。					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	11	9				✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 利用者の状況の変化を早期に把握し、計画の修正が行われている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	12	8			家族の体調不良などにも、迅速に対応してくれました。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] 送迎や訪問時に情報を得て把握している。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	15	5				✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 主治医・薬剤師・リハビリ・マッサージなど多職種と情報共有されている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	18	2				✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] コミュニケーションが良好にとれており必要に応じて協力しあえている。 役割分担できているが、必要に応じて助け合っている。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	17	2	1			✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 朝のミーティングなどで情報共有されている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予	14	5	1			✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ミーティングや申し送りで情報共有と提案を行っている。					について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(４) 利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	13	7			本人の状態に合わせて、必要なケアをその都度提案していただきました。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 見学時や利用開始時に説明し理解を得ている。 同居の家族への説明だけでは不十分な時もある。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	8	11	1		わかりやすく説明して頂きました。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ケアプランについて、説明が行われている。 在宅生活が継続できるよう、理解度に合わせて利用者・家族へ説明している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方	11	8	1		自宅に訪問し、教えて頂きました。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 看護師の指導や説明にて理解が得られている。 理解度や手技の習得状況に応じて、繰り返し説明している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	14	5	1			✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 状況の変化に応じて利用者・家族の意向を確認している。 利用者や家族の思いに寄り添ったサービス提供に努めている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	14	6			いつもいろいろ相談に乗って頂いて助かっています。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 主治医・利用者・家族とも情報共有を行い、対策の検討をしている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見	11	9				✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	計らって、予後および死 までの経過を丁寧に説明 し、説明した内容や利用 者等の意向等を記録とし て残している	<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 主治医による病状の説明が行われ、看護 師により本人や家族の受け止め方などの 想いを傾聴し記録に残している。					視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録と して残している」場合は「よく できている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・ 情報共有等により、病 院・施設等からの、利用 者の円滑な在宅生活への 移行を支援している	17	2	1		医療機関などとの連携は、 サービスの向上につながる と思います。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への 移行」について、充足度を評価 します ✓ 例えば、「退院・退所前のカン ファレンスへの参加」、「利用 者等に係る病院・施設等との継 続した情報共有」などの取組が 考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、 緊急時の対応方針等を、	14	5		1	緊急時、主治医の先生とも すぐに連絡を取り対応して	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医 等との相談・共有」を評価しま

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ でできている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	主治医等と相談・共有することができている	<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 看護師が主治医と連携し、対応方針などを確認し共有している。				くれました。	す ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	14	5	1			✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 24時間対応できる体制が取れている。 主治医との連携も取れている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要	15	4	1		地域の方々と顔の見える関係作りができています。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	[具体的な状況・取組内容] 2か月に1度 運営推進会議が行われ、情報提供や意見交換がされている。					オーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	13	6	1			✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議の議事録は閲覧できるようになっている。 会議の翌日には、必要な情報をミーティングで共有している。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等につ	7	11	2		地域としてできる限り協力したいと考えております。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	いて、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ホームページが作成されている。 地域行事への参加。 事業所で実施している防災訓練に参加して頂いている。				掲示板の活用は地域の方々への後方都市施設の周知ができる重要な役割を果たしていると思います。	✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		2	1	17		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、 <u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していないいない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い ない	全 く でき て い ない		
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	17	2	1			✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	3	3	13	1		✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れ	15	5				✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	ることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] 受け入れ体制が整っており、積極的に受け入れている。					✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	5	14	1			✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅	16	3	1			✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」に

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていな い		
	等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 提供エリアを限定する事なく、地域全体を支える核としての自覚を持ち、積極的にサービスの提供を行っている。 特定の集合住宅などに限定せずに地域全体を対象にしている。				地域としては大変心強い事です。大変だとは思いますが、引き続き提供を進めて頂ければと思います。	ついて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	5	15				✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> 防災訓練への参加の呼びかけ。 運営推進会議で地域の方々と、問題になる事の情報交換や共有がされている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりでき て い ない	全く でき て い ない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	10	10			掲示板の活用により、地域の方に啓蒙できてきていると思います。今後も継続していってください。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（ 7 ） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（ 13 ） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 個々に合わせた対応を行っている。 目標達成に向けて、日々努力している。	情報を共有し、ご本人の状態に合わせた関りができていると思います。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（ 12 ） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（ 8 ） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない	24時間体制で、安心して在宅生活が送れるよう支援されていると思います。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 24時間体制で必要に応じ訪問している。 状態の変化や急変に迅速に対応できている。		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（ 14 ） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（ 6 ） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 主治医と連携をとり、病状や看取りに対しての説明がきちんとされている事。家族の思いや訴えの傾聴や声掛け、24時間対応の体制などから安心感を得て頂けているのではないかと思います。	24時間体制で、ご家族をサポートできると思います。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」